2026年度第1回東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会議事録

1．開催日時：2026年9月25日（金）10:00～12:15

2．開催形式：ハイブリッド会議形式（東海大学伊勢原キャンパス1号館2階 第1会議室＋Zoom）

3．出席者

【監査委員】長谷川 委員長、内嶋 委員、山口 委員、石井 委員、安田 委員、鈴木 委員

【病 院 側】小川 病院長、守田 副院長/医療監査部長、森 副院長/看護部長、
中村 病院運営企画室長/事務部長、鈴木 薬剤部長、
本村 診療技術部次長/医療機器安全管理室長/医療機器安全管理責任者、
橋本 医療放射線安全管理室長/医療放射線安全管理責任者、
梅澤 医療監査部次長/医療安全専従医師、沖 医療監査部次長、山本 医療監査部次長、
水元 医療監査部次長/医療安全対策課長/専従医療安全管理者、
山野 医療監査部付、田中 医療監査部付、堤 医療安全対策課/専従医療安全管理者、
梅澤 医療安全対策課/専従医療安全管理者、
羽村 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、
鈴木 医薬品安全管理室/医療安全専従薬剤師、
川添 医療機器安全管理室/医療安全専任技師、
笠原 医療放射線安全管理室/専従診療放射線技師、
笠原 病院運営企画室/事務課（総務）課長、栗木 医療安全調査課長、
石坂・飯塚・須田 医療安全対策課/事務局

4．配布資料：1)監査委員会次第　2)医療安全管理業務の実施状況

5．監査概要

1)出席者紹介

2)監査委員会の成立

監査委員会規程第5条第3項により、委員の3分の2以上の出席を満たし、本委員会は成立した。

3)医療安全管理業務の実施状況について

①医師のレポート提出状況、画像レポート・病理報告の未読への対応、医療事故調査制度に該当する事例、高難度新規医療技術の申請状況、Safety-Ⅱに関する取り組みについて報告。

②2025年度インシデント/アクシデントレポート経時的分析、2025年度上半期レポート・事例検討による安全対策の評価、2025年度下半期レポート・事例検討による安全対策について報告。

③薬剤関連のインシデントレポート、レポート事例検討と安全対策の評価（2025年度上半期）、外来処方の疑義照会事例と地域連携における取り組み、未承認薬・適応外使用薬の使用について報告。

④医療機器に関するEMI報告（2025年度上半期・下半期レポート数）、2025年度上半期レポート事例の対策と評価、2025年度下半期レポート事例の対策、医療機器安全管理室の取り組み、生体情報モニタに関する継続報告事項、未承認新規医薬品等申請、リチウムイオン電池について報告。

⑤医療放射線の安全利用における管理体制、医療放射線の安全利用における線量記録及び線量管理、モダリティ毎のDRLs（診断参考レベル）との比較、高線量被ばく事例への対応、医療放射線に関する情報提供活動について報告。

6．監査結果

1) Safety-Ⅱの推進活動は進んでおり、深まっていることについては素晴らしいと評価できる。特に医療従事者のやる気である。安全も大事だが、やりがい・やる気という面ではSafety-Ⅱは優れた考え方だと思う。また、地域連携の活動は、薬剤の投与、治療方針について一定の水準が維持できれば、どこに行っても伊勢原市は良好な医療が受けられるということが出来るのであれば、取り組みとしては苦労があると思うが、是非進めていただきたい。残念な点は、レポート・事例検討による安全対策の事例5について、GF前のCT検査で施行医が前立腺と左腎結節の病変に気づいたが共

有されず、結果として見落としとなってしまったことである。患者側からこのような内容の相談は大変多い。せっかく気付いたことを活かせるように、今後の課題として検討いただきたい。

2)医療事故について、ご家族に随時報告されていることが確認出来た。患者は医療のことについてわからないことがあるため、丁寧でわかりやすい説明をお願いする。

3)個々の事例に対してよく対応されていることが確認できた。一般病棟での急変アラーム対応は非常に難しい問題であるが、引き続き改善に取り組んでいただきたい。

4)各事例に対し、よく検討されていると思う。Safety-Ⅱを始めたことで、どのようなことが改善されたのか、細かな解析をしていただき、八王子病院にも情報提供をお願いする。

7．総　評

東海大学医学部付属病院の医療安全のレベルは非常に優れていると今回も感じた。医療安全全般、医薬品、医療機器、医療放射線、どれについても真摯に適切に取り組んでいただいていると思う。

Safety-Ⅰに関することは、一つひとつの症例について、組織として病院としてきちんと検討されていることが確認出来た。これが医療安全の基本であると思うので、是非続けていただきたい。今回の Safety-Ⅰのクリーンヒットは間違いなくビーフリードだと思う。特に現場まで行ったこと、色が原因ではないかという看護師の意見をきちんと確認したことは素晴らしいと思う。

Safety-Ⅱについて推進していただき感謝する。Safety-Ⅱに関して、病院として良ければ0レベルの報告にインシデントではない成功例も報告で良いと明確に宣言していただきたいと思う。また Safety-Ⅱの現在の考え方は、Safety-Ⅰと Safety-Ⅱは相反するものではないので、個々のインシデントレポートの中に悪いことが挙がってきても、Safety-Ⅱの考え方が隠れていないかを見つけに行くことである。例えば報告のあった18歳の患者の身長・体重がおかしいと気づいた看護師を褒めていただきたい。それが Safety-Ⅱの考え方である。ビーフリードも現場に行こうと言った薬剤師や色が原因ではないかと言った看護師も褒め、Good Job 賞を差し上げたい。Safety-Ⅰと Safety-Ⅱは全く別の物ではないので、Safety-Ⅰの中に Safety-Ⅱを見つけに行くようにすると良いのではないかと考える。

8．そ の 他

1)2026 年度第2回東海大学医学部付属病院医療安全管理業務監査委員会の監査項目について

・課題、意見等があればメールにて、事務局まで連絡をお願いしたい。

・可能な限り対面での出席をお願いする。

2)第2回の開催日

・2027 年2月～3月に開催予定。

以　上